

## 第7回 「デジタル生物学のすすめ」

日時	2026年11月21日（土） 15時00分～16時30分
講師	諸橋 賢吾 東京理科大学 創域情報学部 情報理工学科 D系 教授
講義概要	<p>「デジタル生物学」という言葉に戸惑うかもしれませんが、実はデジタル技術と生物学は相性が良いのです。ヒトの脳の神経細胞のつながりはシナプスと呼ばれていますが、その数は世界中に存在するコンピューターの数やインターネット接続数よりも多いのです。つまり、たった1人の脳に世界中の情報網が含まれているわけですが、脳はその膨大な情報網を瞬時に処理し制御しています。また、単細胞生物の大腸菌は約8,000の遺伝子を適切なタイミングでON/OFFを切り替え周りの環境に応答し、かつ子孫を増やしています。これら複雑な情報処理メカニズムとは？その仕組みを解明するのがデジタル生物学です。生物が持つ超高速情報処理システムに未来の人工知能が隠されているかもしれません。</p>
参考図書	